

平成27年度 指定管理者に対する評価シート

(1) 基本情報

①管理施設

施設名	裾野市スポーツ施設等
指定管理者名	シンコースポーツ・静岡ビル保善グループ
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)
評価期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
所管課	生涯学習課(992-3800)

②業務等の概要

業務概要	①スポーツ施設等の運営 ②施設及び設備の維持管理 ③自主事業の企画開催
施設の設置目的(目標)	市民の心身の健全な発達とスポーツの推進を図るため
利用状況の概要	【利用者数】191,889人(前年度271,113人) 内、市民体育館 23,538人(前年度102,802人) ※平成27年7月～平成28年6月 耐震補強工事の為、全館利用無し 内、運動公園 101,515人(前年度112,462人) ※平成27年11月～平成28年3月 陸上競技場改修工事の為、利用無し 内、総合グラウンド 58,943人(前年度49,064人) 内、水泳場 7,893人(前年度6,785人) 【自主事業】 スポーツ教室 13教室開催(前年度1事業) 内、水泳場 1(前年度1)
収支決算状況	【収入】100,928千円(前年度105,435千円) 指定管理料 78,724千円(前年度83,211千円) 利用料金 15,359千円(前年度19,620千円) 自主事業 1,613千円(前年度236千円) その他 5,232千円(前年度2,368千円) 【支出】96,359千円(前年度109,582千円) 人件費・管理費等 89,300千円(前年度108,562千円) 事業費 7,059千円(前年度1,020千円)

(2) 評価

①指定管理者による自己評価(セルフモニタリング)

○次頁以降のとおり

②施設所管課による(モニタリング)

○次頁以降のとおり

(次ページに続く)

③選定評価委員会による評価

○平成27年7月から平成28年6月に市民体育館の改修工事があり、事業実施場所に制約があったが、運動公園の会議室等で成人病予防教室やエアロビクス・ヨガ教室などを開催し、市民の心身の健康増進とスポーツの機会提供に努めたことは評価できる。

○市への連絡体制について、指定管理者の自己評価と所管課評価で差がある。双方の連絡体制を強化し、常に情報共有をしていただきたい。

○新電力の導入により電気料金の削減に努めた。また、グループ内の集中購入により事務用品を調達することによって、管理経費の削減を図ることができた。

○運動公園のふれあい広場や野球場は利用者の増加に伴い芝の劣化等が生じるため、状況を常に把握し、市と協議の上、必要な修繕を実施していただきたい。

○利用者に対し、施設使用後の清掃や整備を口頭で指示しているが、点検マニュアルやチェックシート等を作成するなどして、より適正な維持管理が行われるようにしていただきたい。

平成27年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリングチェックシート(年間評価)

評価項目及び評価基準	配点	自己評価	所管評価	参考書類
1 総合的な基本方針及び経営状況について				
・ 公共性、公平性を尊重し、平等な利用の確保が行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
・ 市民サービスの向上が行われているか	5	4	4	
・ 計画で定めた目標に向けて行われているか	5	4	4	
・ 健全な経営状況で運営が行われているか	5	4	4	
2 人員配置及び人材育成について				
(1) 施設を管理運営する上での組織構造について ・ 組織体制、勤務体制は効率的、円滑に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 人員配置とその職能について ・ 管理運営に必要な人員及び資格や技能を満たす人材が配置されているか	5	4	4	
・ 元職員の再雇用の確保に努めたか ※	5	4	4	
(3) 従業員への指導・研修方法について ・ 従業員への指導、研修方法等は適切であるか	5	4	4	
3. リスクマネジメントと危機管理について				
(1) 施設利用者に対するリスクマネジメントについて ・ 施設のリスクを分析し、適切な対応をしているか	5	4	4	セルフモニタリング書類、緊急連絡網等
(2) 災害時等の緊急時の対応について ・ 災害時等の連絡体制が確立しているか	5	4	4	
・ 業務員への周知徹底、研修・訓練が実施されているか	5	4	4	
4. 施設の運営と休館日について				
(1) 効率的な運営とサービス向上が行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類、実績簿等
(2) 休館日の設定は計画書どおりに行われているか	5	5	5	
(3) 個人情報の保護が適切に行われているか	5	4	4	
(4) 利用者の意見要望の把握に努めているか	5	4	4	
(5) 施設のPR・広報活動が行われているか	5	4	4	
(6) 利用者数や稼働率は目標を達成しているか	5	3.33	3.33	
5. 施設・設備の維持管理等について				
(1) 施設の点検及び維持管理補修は適切に実施されているか	5	4.33	4	セルフモニタリング書類等
(2) 施設清掃・植栽管理は実施されているか	5	3.67	3.67	
(3) 環境コストの低減策は実施されているか	5	4	4	
6. 施設の管理運営にかかる経費及び収支について				
(1) 利用料金設定の考えは適切に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 収入確保は適切に行われているか	5	4	4	
(3) 管理コストの削減は適切に行われているか	5	4	4	
7. 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)について				
(1) 市民や行政、関係団体と連携は適切に行われているか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 障害者や高齢者に適切な事業は適切に行われているか	5	3	3	
(3) 成人病の予防あるいは疾病への対応は適切に行われているか	5	3	3	
(4) 市民のスポーツ推進を図る事業は適切に行われているか	5	4	4	
8. 市への連絡報告体制				
(1) 事業報告等の必要な報告や相談が適切に行われているか	5	4	3	セルフモニタリング書類等
9. その他				
(1) 裾野市スポーツ祭10大会を適切に運営したか	5	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 市民体育館工事期間中の仮窓口受付業務は適切に行われているか ※	5	4	4	
(3) 計画書でのその他の提案事項について取り組んでいるか	5	4	4	
合 計	155	122	121	

- 優 秀 (5) : 特に優れている
- 良 好 (4) : 問題なく適正に行われている
- 普 通 (3) : 最低限の基準はクリアしている
- 不十分(2) : 更なる改善が必要
- 不 備 (1) : 根本的な見直しが必要

(注意)「※」は平成27年度のみ

平成27年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリングチェックシート(年間評価)

評価項目及び評価基準	配点	対象施設数	平均		体育館		運動公園・グラウンド		水泳場		参考書類	
			自己評価	所管評価	自己評価	所管評価	自己評価	所管評価	自己評価	所管評価		
2(2) 人員配置とその職能について												
・管理運営に必要な人員及び資格や技能を満たす人材が配置されているか	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	報告書等
4. 施設の運営と休館日について												
(1) 効率的な運営とサービス向上が行われているか	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	セルフモニタリング書類等
(2) 休館日の設定は計画書どおりに行われているか	5	2	5	5	5	5	5	5	/	/		
(6) 利用者数や稼働率は目標を達成しているか	5	3	3.33	3.33	3	3	3	3	3	4	4	
5. 施設・設備の維持管理等について												
(1) 施設の点検及び維持管理補修は適切に実施されているか	5	3	4.33	4	4	4	4	4	4	5	4	セルフモニタリング書類等
(2) 施設清掃・植栽管理は実施されているか	5	3	3.67	3.67	4	4	3	3	3	4	4	

※3施設ごとに5点満点で採点する

- 優 秀(5) : 特に優れている
- 良 好(4) : 問題なく適正に行われている
- 普 通(3) : 最低限の基準はクリアしている
- 不十分(2) : 更なる改善が必要
- 不 備(1) : 根本的な見直しが必要

平成27年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリング状況報告書(年間評価)

指定管理者(シンコースポーツ・静岡ビル保善グループ)による自己評価

1 総合的な基本方針及び経営状況について

評価内容
施設一般利用及び団体利用に関して、特定の個人・団体が便益を得るようなことのないよう条例に基づいた管理運営・利用許可業務を行っている。また自主事業に関しても、一般利用の妨げにならないよう稼働率の低い施設・時間帯にて開催をしている。その結果、27年度に目標として掲げた「不平等に対する市民の苦情ゼロ」「利用料金収入の確保」に関しての目標を達成することが出来た。

2 人員配置及び人材育成について

評価内容
代表団体である「シンコースポーツ株式会社」が運営に関わる業務を担当し、構成団体である「静岡ビル保善株式会社」が施設の維持管理業務を担当。配置については、「裾野市スポーツ施設等」全体の「総括責任者」の下に、「市民体育館等責任者」「運動公園等責任者」「施設維持管理責任者」を配置し、その施設の担当業務チーフが各ユニットメンバーをマネジメントする組織体制としている。また再雇用については、前指定管理者より常勤職員1名、非常勤職員2名を雇用した。 人材育成については、受付・事務研修、個人情報保護研修、防災・救急訓練等を適時行う事で、裾野市の代行者である上での必要なスキルを習得している。

3 リスクマネジメントと危機管理について

評価内容
「裾野市地域防災計画」などを踏まえた「裾野市スポーツ施設安全管理マニュアル」を策定し、運用している。また消防訓練・避難訓練を年度内に3回(5月・9月/1月)実施し、さらにスタッフの知識や技術向上のため、救急救命講習への参加や心肺蘇生法・AEDの取扱に関する研修を実施した。 災害時に備え、館内・園内には、「災害救援ベンダー」タイプの自動販売機を非常用備蓄として配備した。 業務で取扱う金銭＝公金であるという認識の下、金銭トラブル防止として、両施設に自動入金機を導入し、リスク軽減を図っている。 通常業務時には、事故・トラブル発生の防止・被害抑制対策として、スタッフによる定期的な施設巡回、注意喚起の張り出し・更新、簡易修繕等を実施した。

4 施設の運営と休館日について

評価内容
利用者からの意見・要望は、施設の質を高める「情報の宝庫」であるという認識の下、利用者の生の声を聞き、その要望(ニーズ・ウォンツ)を蓄積・共有して迅速な対応を取る様心掛けた。そのため、日頃の利用者とのコミュニケーションやアンケート(4月実施)から要望をリサーチし、27年度は受付手続きの簡略化を行った。また、貸出備品の修繕をこまめに行い、利用し易い施設環境を提供することが出来た。 休館日は、体育館＝第2月曜日、運動公園＝毎週月曜日から第3月曜日と開館日の増加を行っている。その為、市内のどこかの施設は開館している環境とし、市民がいつでも運動できる環境を整えた。 施設のPR広報活動として、裾野市スポーツ施設のHPやFacebookページを新たに開設し、幅広い世代で広域に渡って周知している。

5 施設・設備の維持管理等について

評価内容
<p>維持管理責任者を中心に日常点検・自主点検を行うことで、現場と現物を常に確認し維持管理に努めた。また、年間維持管理計画を基に法定点検および各種点検業務を遂行した。</p> <p>日常清掃においては、施設利用者の第一印象につながる管理事務所(受付窓口)やトイレ・更衣室の美観度は特に注意して重点的に清掃を行い、大会やイベント前後等繁忙期には、観覧席や大会関係諸室等の清掃を確実にかつ効率的に行うための増員体制を構築した。</p> <p>植栽については、利用者の動向や開催する大会・イベント等のスケジュールに合わせ、適切な作業を実施した。また、日常管理のなかでの状況変化にも留意し、野球場、グラウンドなどの使用日には、最良の状態を提供するよう心掛けた。</p> <p>その他、ヤギ除草を導入し、環境負荷の軽減や人件費の抑制によるコスト軽減を図った。</p>

6 施設の管理運営にかかる経費及び収支について

評価内容
<p>施設利用料金については、指定管理以前と同様の料金にて徴収をしている。施設の稼働率等を考慮し、空き施設・低稼働施設で自主事業を行うことで、新たな収入確保を行った。</p> <p>管理コストの削減として、電気使用量が多い箇所に対しては、新電力(PPS)の導入をし、電気料金の削減(通常請求の20%程)をしている。</p> <p>事務用品・消耗品等については、当グループによる集中購買などにより安く納入し、経費削減を図っている。</p> <p>修繕に関しても、こまめな簡易修繕を施すことで大規模修繕に繋がるのを未然に防いだ。</p>

7 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)について

評価内容
<p>裾野市スポーツ協会及び加盟団体を支援し、行政を含めた利用調整を行い、一般利用に支障がない(平等性を欠かない)範囲で施設を優先的に貸出している。</p> <p>体育館事務所内に裾野市スポーツ協会専用の活動スペースを無償にて提供し、継続的な活動を支援している。</p> <p>その他自主事業として、稼働率の低い陸上競技場の会議室を、市民のスポーツ振興・健康増進に寄与できるよう、サーキットトレーニングルームを開設。</p> <p>現在、エアロビクスやヨガ教室(全4本)を開催しており、利用者からは好評を頂いている。</p>

8 市への連絡報告体制

評価内容
<p>市への連絡報告体制として、基本協定書で定めた日程での月次報告、四半期報告、年次報告を的確に行った。また、自主的な報告として毎月の維持管理点検報告を提出し、不具合箇所の共有を図った。</p> <p>トラブル発生時・緊急修繕時には随時報告・相談を行うことで、利用者に影響の無い迅速対応を行うことが出来た。</p> <p>スポーツ祭などの大会運営時には、行政を交えて打合せを行うことで、大会運営に支障をきたさない運営が実現した。</p>

9 その他

評価内容
市民スポーツ祭については、市民(参加者)の混乱・不満発生を防止するため、開催時期・会場・参加料等に関しては、入念に関連団体との協議を行うことで、支障なく運営できた。 耐震工事期間中(～平成28年6月中旬まで)の仮窓口は、余裕を持った宣伝・周知を図ったことで、スムーズに移転ができ、利用者が支障なく受付が出来た。 年間目標を達成するために、PDCA手法を導入し、「目標設定＝結果」の確認を毎月スタッフ一同で行い、「新たな方策・目標」を適時、導入することで利用者満足度向上を図り、耐震工事・改修工事に影響の無い施設での利用者の増加を実現した。

(総合評価)

1 指定管理により、充実・改善・向上したサービス

評価内容
①営業日の拡大(運動公園休館日 毎週から月1回へ変更) ②運動公園会議室の有効活用(トレーニングマシン設置・スポーツ教室開催等) ③障害者支援自販機の設置(運動公園野球場にて設置) ④施設予約申請書の形式変更(受付時間短縮) ⑤ワンポイントレッスン(無料体験教室)の開催(子供野球・キッズラグビー等) ⑥物販・レンタルの実施(スポーツウェアやスポーツ用品等) ⑦Facebook開設(裾野市スポーツ施設 専用ページ) ⑧プール監視システム(セーフティータートル)の導入 ⑨健康運動指導士によるスポーツコンシェルジュの提供(健康相談) ⑩災害ベンダータイプ自販機導入 ⑪無料健康講座の開催(ダイエット方法の指導やインボディー測定を実施)

2 今後の業務改善に向けて、検討・調査が必要な事項

評価内容
①裾野市スポーツ施設全体における高額修繕(中規模～大規模)箇所の調査 ②施設減免利用についての判断基準の精査 ③施設内での物品販売(飲食等)出店について検討 ④陸上競技場の年間大会数の取り決めについて

3 上記のほか特記事項

評価内容
・平成28年7月2日(土)市民体育館リニューアルオープンセレモニーイベントの実施(スポーツ著名人による講習会等を予定) ・平成28年8月下旬頃より、市民体育館内にて各種スポーツ教室プログラムを開設予定

平成27年度 裾野市スポーツ施設等におけるモニタリング状況報告書(年間評価)

生涯学習課評価

1 総合的な基本方針及び経営状況について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・施設一般利用及び団体利用に関して、公共性、公平性を尊重し、平等な利用の確保をするために、特定の個人・団体が便益を得るようなことのないよう条例に基づいた管理運営・利用許可業務が行われている。・市民サービスの向上のため、無料の教室・講座を開催するなど市民サービスが行われている。・計画で定めた目標に向け、一般利用の妨げにならないよう稼働率の低い施設・時間帯にて自主事業の教室が開催されている。・健全な経営状況の維持に努めている。 総合的な基本方針及び経営状況については、良好であった。

2 人員配置及び人材育成について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・組織勤務体制を効率的に円滑に行うため、グループの「シンコースポーツ株式会社」が運営に関わる業務を担当し、構成団体である「静岡ビル保善株式会社」が施設の維持管理業務を担当するという形であり、運営と施設とで分担して業務を行っている。・管理運営に必要な人員及び資格や技能を満たすため、「裾野市スポーツ施設等」全体の「総括責任者」の下に、「市民体育館等責任者」「運動公園等責任者」「施設維持管理責任者」を配置し、その施設の担当業務チームが各ユニットメンバーをマネジメントする組織体制で行われている。・元職員の再雇用の確保のために、希望者全員と面接し、条件を満たした前指定管理者より常勤職員1名、非常勤職員2名を雇用した。・従業員への指導、研修に対して、受付・事務研修、個人情報保護研修、防災・救急訓練等が適時行われている。 人員配置及び人材育成については、良好であった。

3 リスクマネジメントと危機管理について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・施設のリスクを分析し「裾野市地域防災計画」などを踏まえた「裾野市スポーツ施設安全管理マニュアル」を独自に策定し運用している。・災害時等の連絡体制の確立については、消防訓練・避難訓練を年度内に3回(5月・9月/1月)実施し、さらにスタッフの知識や技術向上のため、救急救命講習への参加や心肺蘇生法・AEDの取扱いに関する研修を行っている。災害時に備え、館内・園内には、「災害救援ベンダー」タイプの自動販売機を非常用備蓄として配備している。・業務員への周知徹底、研修・訓練に対しては、業務で取扱う金銭は公金であるという認識の下、金銭トラブル防止として、両施設に自動入金機を導入し、リスク軽減を図り、通常業務時には、事故・トラブル発生の防止・被害抑制対策として、スタッフによる定期的な施設巡回、注意喚起の張り出し・更新、簡易修繕等を実施している。 リスクマネジメントと危機管理については、良好であった。

4 施設の運営と休館日について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・効率的な運営とサービス向上に対して、日頃の利用者とのコミュニケーションやアンケート(4月実施)から要望をリサーチして、27年度は受付手続きの簡略化を行い、また、貸出備品の修繕がこまめに行われた。・休館日の設定として、体育館を第2月曜日、運動公園を毎週月曜日から第3月曜日と開館日の増加を行い、市内のどこかの施設は開館している環境とし、市民がいつでも運動できる環境づくりが行われた。・個人情報の保護に対して、プライバシーマークを取得し保護が行われている。・利用者の意見要望に対して、アンケート用紙を配布し、問題に対して早急に対応している。・施設のPR・広報活動として、裾野市スポーツ施設のHPやFacebookページを新たに開設している。・利用者数や稼働率は、暫定的ではあるが目標どおりに行われている。 施設の運営と休館日については、良好であった。

5 施設・設備の維持管理等について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・施設の点検及び維持管理補修は、維持管理責任者を中心に日常点検・自主点検を行い、現場と現物を常に確認し維持管理に努め、年間維持管理計画を基に法定点検および各種点検業務を実施している。・施設清掃・植栽管理に対しては、管理事務所(受付窓口)やトイレ・更衣室の清掃を行い、大会やイベント前後等繁忙期には、観覧席や大会関係諸室等の清掃を確実かつ効率的に行うための増員体制を構築している。植栽管理が遅れはしたものの、維持管理箇所の修繕や不備な物に対して手作業で補修して経費削減していた。・環境コストの低減策に対しては、利用者の動向や開催する大会・イベント等のスケジュールに合わせ、適切な作業を実施し、日常管理のなかでの状況変化にも留意し、野球場、グラウンドなどの使用日には、最良の状態を提供していた。また、ヤギ除草を導入し、環境負荷の軽減や人件費の抑制によるコスト軽減を図っていた。 施設・設備の維持管理等については、概ね良好であった。

6 施設の管理運営にかかる経費及び収支について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・利用料金設定の考えは、指定管理以前と同様の料金にて徴収をするとともに、施設の稼働率等を考慮し、空き施設・低稼働施設で自主事業を行い、新たな収入確保を行っている。・収入確保に対して、以前の指定管理の料金と同様に徴収している。・管理コストの削減は、電気使用量が多い箇所に新電力(PPS)の導入をし、電気料金の削減(通常請求の20%程)をしている。事務用品・消耗品等については、指定管理グループによる集中購買などにより安く納入・経費削減を図っている。修繕に関しても、こまめな簡易修繕を行っている。 施設の管理運営にかかる経費及び収支については、良好であった。

7 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)について

評価内容
<ul style="list-style-type: none">・市民や行政、関係団体との連携に対して、裾野市スポーツ協会及び加盟団体を支援し、行政を含めた利用調整を行い、一般利用に支障がない(平等性を欠かない)範囲で施設を優先的に貸出していた。体育館事務所に裾野市スポーツ協会専用の活動スペースを無償にて提供し、継続的な活動を支援していた。その他自主事業として、稼働率の低い陸上競技場の会議室で、市民のスポーツ振興・健康増進に寄与できるよう、サーキットトレーニングルームを開設している。・障害者や高齢者に対しては、指定管理以前と同様の施設使用料金にて徴収している。・成人病の予防あるいは疾病への対応は、陸上競技場の会議室にてサーキットトレーニングを開講している。・市民のスポーツ推進を図る事業に対しては、エアロビクスやヨガ教室(全4本)を開催している。 自主事業(裾野市スポーツ祭10大会を除く)については、概ね良好であった。

8 市への連絡報告体制

評価内容
<p>・事業報告等の必要な報告や相談に対して、基本協定書で定めた日程での月次報告、四半期報告、年次報告がなされた。また、自主的な報告として毎月の維持管理点検報告を提出し、不具合箇所の共有も行われた。トラブル発生時・緊急修繕時には随時報告・相談を行うことで、利用者に影響の無い迅速対応が出来ていた。スポーツ祭などの大会運営時には、行政を交えて打合せを行うことで、大会運営に支障をきたさない運営が行われた。次年度の四半期報告は資料の提出を手渡しのみではなく詳細を伺いたい。</p> <p>市への連絡報告体制については、概ね良好であった。</p>

9 その他

評価内容
<p>・裾野市スポーツ祭10大会に対して、市民(参加者)の混乱・不満発生を防止するため開催時期・会場・参加料等に関して入念に関連団体との協議が行われた。</p> <p>・市民体育館工事期間中の仮窓口業務に対して、事前の宣伝・周知を図ったことでスムーズに移転が行われ利用者が支障なく受付が行われた。</p> <p>・計画書でのその他の提案事項に対しては、年間目標を達成するためにPDCA手法を導入し目標設定に対する結果の確認を毎月スタッフ一同で行い「新たな方策・目標」を適時導入することで利用者満足度向上を図り耐震工事・改修工事に影響の無い施設での利用者の増加が実現できるように行われていた。</p> <p>その他については、良好であった。</p>

(総合評価)

1 指定管理により、充実・改善・向上したサービス

評価内容
<p>営業日の拡大や教室など、利便性の向上に向けた多くの取組がなされ問題なく適正に行われた。また、さまざまな維持管理箇所の修繕や、速やかなクレーム対応により、信頼できる指定管理者であった。</p> <p>①営業日の拡大(運動公園休館日 毎週から月1回へ変更) ②運動公園会議室の有効活用(トレーニングマシン設置・スポーツ教室開催等) ③障害者支援自販機の設置(運動公園野球場にて設置) ④施設予約申請書の形式変更(受付時間短縮) ⑤ワンポイントレッスン(無料体験教室)の開催(子供野球・キッズラグビー等) ⑥物販・レンタルの実施(スポーツウェアやスポーツ用品等) ⑦Facebook開設(裾野市スポーツ施設 専用ページ) ⑧プール監視システム(セーフティータートル)の導入 ⑨健康運動指導士によるスポーツコンシェルジュの提供(健康相談) ⑩災害ベンダータイプ自販機導入 ⑪無料健康講座の開催(ダイエット方法の指導やインボディー測定を実施)</p>

2 今後の業務改善に向けて、検討・調査が必要な事項

評価内容
<p>今まで以上に連絡を密にして、裾野市スポーツ施設を市民が積極的に活用できるように検討・調査を望む。</p> <p>①裾野市スポーツ施設全体における高額修繕(中規模～大規模)箇所の調査 ②施設減免利用についての判断基準の精査 ③施設内での物品販売(飲食等)出店について検討 ④陸上競技場の年間大会数の取り決めについて</p>

3 上記のほか特記事項

評価内容
<p>トップアスリート等による、本物に触れあえるイベント・講演会の実施を望む。</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年7月2日(土)市民体育館リニューアルオープンセレモニーイベントの実施(スポーツ著名人による講習会等を予定)・平成28年8月下旬頃より、市民体育館内にて各種スポーツ教室プログラムを開設予定